

東京都地方独立行政法人評価委員会 平成19年度第2回試験研究分科会
議事概要

1. 日時：平成19年8月3日（金）14時から16時30分まで
2. 場所：東京都庁第一本庁舎 33階南側 特別会議室S1
3. 出席者：板生委員、泉澤委員、鞠谷委員、松本委員
4. 議題：審議事項 （1）平成18年度産業技術研究センターの業務実績評価（案）
（2）財務諸表、利益処分に対する意見聴取

5. 議事概要

（1）平成18年度産業技術研究センター業務実績評価（案）の検討

資料1の業務実績評価項目別評価（案）に沿って、16の項目の評価単位ごとに1、2、3、4の評価を決めた上で、配布資料2により全体評価の検討を行った。項目別評価では、16項目のうち、評定1（年度計画を順調に実施している）が5項目、評定2（年度計画を概ね順調に実施している）が11項目となった。

【委員意見】

<項目別評価>

項目1 製品化支援

・製品化支援については事業体制を整備し色々と成果をあげている。今後工夫すべき課題としては、経営面からの支援のあり方やベンチャー支援などが挙げられる。

項目3 助成、融資及び表彰等に関する評価支援

・他の自治体と比較しても、産業技術研究センターが一步先んじて実施している点については評価できる。

項目5 依頼試験

・料金支払方法の改善、オーダーメイド試験など新しい取り組みを始めたことは高く評価できる。
・利用企業アンケートについては、満足度の高かった部分だけでなく、未回答やマイナスの意見についても留意してほしい。

項目8 基盤研究

・研究テーマ数については、研究員の採用予定人数や財源等を考慮し、より計画的に行うべきである。

項目 15 業務運営の効率化と経費節減

- ・経費節減は、中期目標期間中、毎年度平均で1%効率化することになっており、毎年1%に近い削減率を達成できるようにすべきである。

<全体評価>

- ・数値目標をある程度クリアしてきており、今後は同時に質的な面での充実が求められる。
- ・独立行政法人化してから、デザインセンター開設や外部資金獲得など新しい取り組みを積極的に進めたことは評価できる。
- ・依頼試験などの実績は伸びているが、中小企業が利用できる実用的な技術開発を行い、その成果や効果を把握することが必要である。

(2) 平成18年度財務諸表等に関する意見聴取

事務局から資料3により、平成18年度決算における利益処分の考え方について説明した。

【委員意見】

- ・財務内容については、自らも分析を行うとともに、今後はより一層効率的な業務執行を推進していく必要がある。

(3) その他

事務局から今後のスケジュールについて説明。

以上